

# マナー講座を実施しました！

職場体験に向けて、12日に清月記の豊田洋子様をお招きして「マナー講座」を開催しました。あいさつの練習や職場でのマナー等について、説明や実践指導をしていただきました。

中学生が普段使っている言葉遣いが実は失礼であるとか、社会人としてはあいさつや礼儀作法に気を配らなければならないということを知ることができました。

次の日にお子さんたちが感想を書きました。「『第一印象は30秒で決まる』とかあいさつの際の礼には『同時礼』と『分離礼』があるということを知りました。」「職場体験では言葉遣いに気をつけたいです。」という感想がありました。

## 職場体験学習の1日の流れ（留意事項）

場面	忘れてはいけない行動	注意事項
家を出るとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物、準備物などを忘れないように再確認して、時間に余裕を持って家を出る。</li> <li>・服装は指定された格好で。</li> <li>・体温を測るのを忘れずに。</li> </ul>	朝ご飯はしっかり食べる。
通勤時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩、自転車の人は、車に気をつける。</li> <li>・公共機関の人は、バス・電車のマナーをしっかりと守り、他の人の迷惑にならないよう行動する。（バスや電車の時間には 余裕を持って）</li> <li>・友達との待ち合わせは、時間・場所をしっかりと確認する。</li> <li>・友達が遅れた場合は、先に行く。</li> </ul>	時間に余裕を持って行動する。
事業所に着いたら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の前に、開始5分前には集合する。（服装を整え、身だしなみを確認しよう。）</li> <li>・班長を先頭に全員そろって事業所に入る。</li> <li>・担当の方にしっかりと挨拶をする。 「おはようございます。よろしくお願いします。」</li> <li>・班長はあとでノートの日誌に評価をしてもらうことを願います。</li> <li>・2日目以降は班長が忘れずに、事業所の方に評価を書いてもらうように渡す。</li> </ul>	初日 2日目以降も

仕事開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当の方の指示に従い、勝手な行動はとらない。もしわからないことがあれば、担当の方に必ず確認してから行動する。</li> <li>・ 周りを見て、てきぱきと動く。</li> <li>・ 指示をされたら、元気よく返事「はい、わかりました。」</li> <li>・ 一生懸命働く。</li> </ul>	
昼食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決められた場所で食事をする。</li> <li>・ ゴミは持ち帰り（各自）</li> <li>・ 時間が余ったときは、静かに過ごす。</li> <li>・ 体を休める時間です。（遊ぶ時間ではないので注意する。）</li> </ul>	時間の使い方を考えていくと良い。
午後の開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午前中同様、頑張ろう。</li> </ul>	
仕事終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後片付けをしっかりとる。</li> <li>・ 借りたものは元の場所に返却する。</li> <li>・ 時間がいただけるのなら日誌を記入する。</li> <li>・ 明日の予定を確認する。</li> <li>・ 今日の評価を日誌に記入してもらう。</li> <li>・ 帰るときは、元気に挨拶をして帰る。 「ありがとうございました。お先に失礼します。明日もよろしく お願いします。」</li> <li>・ 交通事故にあわないように気をつけて帰る。</li> <li>・ 寄り道をせずまっすぐ帰る。</li> </ul>	最終日は自分たちで考えて考えてしっかり挨拶する。
帰宅したら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連絡係は学校へ電話連絡。 「△△で職場体験している2年〇組の・・・です。2年生の先生をお願いします。」（2年生の先生が出たら）「△△での職場体験が終了し、今、家に着きました。」</li> <li>・ 日誌をまとめまる。</li> <li>・ 明日の準備を忘れずに。</li> <li>● 3日目終了後は、このノートの最後のページまで書き込む。</li> </ul>	

※上記の「1日の流れ」は、お子さんが持っている「職場体験学習ノート」にも掲載されています。事前に集会でもしっかりできるように指導しますが、ご家庭でも話題にしていだいて、お子さんが迷わず活動できるようにご支援ください。